

日本赤十字社 武蔵野赤十字病院

【病院の概要】

〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1丁目26番1号

病院創設 昭和24年11月30日(1949.11.30)

敷地面積 34,715 m² 延べ床面積 56,774 m²

病床数 611床

(うち、ICU 8床、HCU 22床、CCU 6床、SCU 9床、NICU 6床、感染症 20床)

診療科目 総合診療科／膠原病・リウマチ内科／感染症科／腎臓内科／血液内科／腫瘍内科／内分泌代謝科／循環器科／消化器科／呼吸器科／神経内科／外科／乳腺科／心臓血管外科／呼吸器外科／整形外科／産婦人科／小児科／新生児科／耳鼻咽喉科・頭頸部外科／眼科／皮膚科／泌尿器科／放射線科／脳神経外科／心療内科・精神科／形成外科／麻酔科／リハビリテーション科／特殊歯科・口腔外科／病理診断科／緩和ケア科

【当院の特徴】

- ・230名あまりの医師が在職し、北多摩南部2次医療圏の地域医療支援病院として高度な医療を提供している。
- ・急性期医療は1次、2次救急に加えて救命救急センターによる3次救急までをカバーしている。
- ・地域がん診療連携拠点病院としてがん診療にも力を入れている。
- ・新生児集中治療室を併設した地域周産期母子医療センターを有している。
- ・災害救助、国際支援活動が盛んである。



【麻酔科診療の特徴】

- ・手術センターに9室の手術室があり、年間約8300件の手術が行われている。
- ・常勤医師10名(うち、専門医以上7名)と非常勤医師により、年間約3700件の麻酔科管理手術症例がある。手術センター以外にも救命救急センターや血管撮影室でも麻酔管理を行っている。
- ・小児外科を除くすべての手術症例を経験できる。心臓外科、胸部外科、脳神経外科手術の麻酔管理件数も多い。
- ・救急症例が豊富である。また、地域周産期母子医療センターとして緊急帝王切開術をはじめとする産科救急症例が数多く経験できる。

・脳神経外科、心臓血管外科を中心に血管内手術が多く、また、interventionを併用したハイブリッド手術も経験できる。



・術前外来に早くから取り組み、予定手術については全ての症例が術前外来を受診している。

また、重症例については他部署とも協力して綿密な麻酔計画を立てている。内科系診療科を含めた他科との協力体制が良く、集学的な麻酔管理が可能である。

【当院の麻酔科の良いところ】

- ・長時間労働は診療の質を低下させることから、ワークシェアに取組み、時間外勤務の削減に努めている。
- ・医師の育児支援・介護支援を行っている。時短勤務など就労環境を整え、医師としてのキャリアの中断がないように配慮している。
- ・臨床研究を推奨している。学会参加をサポートしている。
- ・専門医取得に必要な臨床経験、技術・知識の習得が十分に可能である。

【部長から一言】

働きやすい環境を作ることに心をくばっています。そのため、協力し合う意識が強く、困った時は嫌な顔をしないで助けてくれます。臨床の実力をつけたい医師、専門医を目指す医師にとってはうってつけの病院だと思います。